

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 332

1	事業名	兵庫小学校建設事業	コード	01	10	02	01	02	99
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	兵庫小学校学区の児童								
2	働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)								
3	どのような状態にしたいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。								
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	兵庫小学校施設整備事業							
		工事期間	平成16年度 ~ 令和3年度 ~							
		全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。							
		評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入							
		予定全体事業量[A]	10,877.00 m ²							
		評価年度までの事業量[Σa]	10,877.00 m ²							
		事業量の進捗率[Σa/A]	100.0 %							
		予定全体直接事業費[B]	2,425,887,286 円							
		評価年度までの直接事業費[Σb]	2,425,887,286 円							
		事業費の進捗率[Σb/B]	100.0 %							
		評価年度の事業量[a]	0.00 m ²							
評価年度の直接事業費[b]	74,083,881 円									
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	0 円									
5	直接事業費計	前年度決算額	74,005,078 円					決算額	74,083,881 円	

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
6 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	74,005,078	74,083,881	0
	一般財源②	74,005,078	74,083,881	0
	起債③	0	0	0
	その他④	0	0	0
	概算人件費⑤	156,769	160,223	
	総合計(①+⑤)	74,161,847	74,244,104	
	町費投入額(②+③+⑤)	74,161,847	74,244,104	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		兵庫小学校施設整備事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 333

1	事業名	公園緑地築造事業	コード	01	08	04	02	02	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	地域住民及び公園利用者			
2	働きかける相手(対象)	公園施設等			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	上城さくら公園築造工事	上鏡田公園築造工事	
		工事期間	令和2年度～令和3年度	令和2年度～令和5年度	～
		全体工事概要	公園築造工事 A=3,000㎡	公園築造工事 A=5,500㎡	
		評価年度の実施内容	公園築造工事 A=3,000㎡		
		予定全体事業量[A]	3,000.00 ㎡	5,500.00 ㎡	㎡
		評価年度までの事業量[Σa]	3,000.00 ㎡	0.00 ㎡	㎡
		事業量の進捗率[Σa/A]	100.0 %	0.0 %	%
		予定全体直接事業費[B]	117,538,410 円	307,270,000 円	円
		評価年度までの直接事業費[Σb]	117,538,410 円	6,270,000 円	円
		事業費の進捗率[Σb/B]	100.0 %	2.0 %	%
評価年度の事業量[a]	3,000.00 ㎡	0.00 ㎡	㎡		
評価年度の直接事業費[b]	112,294,600 円	0 円	円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	37,432 円	0 円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	13,879,491 円	決算額	112,294,600 円

6 コストの推移	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	直接事業費①(②+③+④)	13,879,491	112,294,600	0
	一般財源②	13,879,491	31,494,600	0
	起債③	0	80,800,000	0
	その他④	0	0	0
	概算人件費⑤	9,343,739	5,912,548	
	総合計(①+⑤)	23,223,230	118,207,148	
	町費投入額(②+③+⑤)	23,223,230	118,207,148	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		上城さくら公園築造工事	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (2)		上鏡田公園築造工事	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 334

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人			
2	働きかける相手(対象)	道路			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	藤坂・涼松2号線	榊池・東郷中央線	南蚊谷6号線
		工事期間	令和元年度～令和6年度	令和2年度～令和4年度	平成29年度～令和3年度
		全体工事概要	用地取得地権者 1名 取得面積 105.91㎡ (土地開発公社先行取得)	工事延長 L=774m	工事延長 L=125m 物件補償調査 土地評価 不動産鑑定評価 用地取得地権者 7名 物件移転補償対象 4名 取得面積 353.79㎡
		評価年度の実施内容	償還金支出 A=21.18㎡	工事延長 L=554m	工事延長 L=20m 境界杭復元 N=45箇所
		予定全体事業量[A]	105.91 ㎡	774.00 m	125.00 m
		評価年度までの 事業量[Σa]	51.96 ㎡	634.00 m	125.00 m
		事業量の進捗率 [Σa/A]	49.1 %	81.9 %	100.0 %
		予定全体 直接事業費[B]	9,694,242 円	196,271,200 円	28,130,819 円
		評価年度までの 直接事業費[Σb]	4,868,990 円	118,318,200 円	28,130,819 円
		事業費の進捗率 [Σb/B]	50.2 %	60.3 %	100.0 %
		評価年度の事業量[a]	21.18 ㎡	554.00 m	125.00 m
		評価年度の 直接事業費[b]	1,941,853 円	113,782,900 円	10,344,015 円
事業量1単位当たり 直接事業費[b/a]	91,683 円	205,384 円	82,752 円		
5	直接事業費計	前年度決算額	132,723,943 円	決算額	229,143,046 円

6 コストの 推移	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	直接事業費①(②+③+④)	132,723,943	229,143,046	220,358,000
	一般財源②	59,401,943	115,020,046	83,729,000
	起債③	49,900,000	93,000,000	133,000,000
	その他④	23,422,000	21,123,000	3,629,000
	概算人件費⑤	21,617,407	21,285,172	
	総合計(①+⑤)	154,341,350	250,428,218	
	町費投入額(②+③+⑤)	130,919,350	229,305,218	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		藤坂・涼松2号線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか?	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (2)		榊池・東郷中央線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか?	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (3)		南蚊谷6号線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか?	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和3年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 335

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人							
2	働きかける相手(対象)	道路							
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東郷・三好線						
		工事期間	令和2年度～令和3年度		～		～		
		全体工事概要	工事延長 L=150m						
		評価年度の実施内容	工事延長 L=150m						
		予定全体事業量[A]	150.00 m						
		評価年度までの事業量[Σa]	150.00 m						
		事業量の進捗率[Σa/A]	100.0 %				%		%
		予定全体直接事業費[B]	74,743,100 円				円		円
		評価年度までの直接事業費[Σb]	74,743,100 円				円		円
		事業費の進捗率[Σb/B]	100.0 %				%		%
		評価年度の事業量[a]	150.00 m						
評価年度の直接事業費[b]	73,148,900 円				円		円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	487,659 円				円		円		
5	直接事業費計	前年度決算額	132,723,943 円		決算額	229,143,046 円			

6 コストの推移	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	直接事業費①(②+③+④)	132,723,943	229,143,046	220,358,000
	一般財源②	59,401,943	115,020,046	83,729,000
	起債③	49,900,000	93,000,000	133,000,000
	その他④	23,422,000	21,123,000	3,629,000
	概算人件費⑤	21,617,407	21,285,172	
	総合計(①+⑤)	154,341,350	250,428,218	
	町費投入額(②+③+⑤)	130,919,350	229,305,218	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		東郷・三好線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 336

1	事業名	下水道建設事業	会計	下水道事業会計
2	担当部課	経済環境部	下水道課	
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】	
		基本施策	04 良好な住環境をつくる	
		施策の展開方向	② 下水道の整備・維持管理	

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び町民			
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質を改善することにより、町民生活の環境衛生の向上を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業		
		工事期間	平成元年度～令和5年度		
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域562haの公共下水道の整備		
		評価年度の実施内容	整備面積0.14ha 整備延長1.53km 接続件数222件		
		予定全体事業量[A]	562.00	ha	
		評価年度までの事業量[Σa]	501.50	ha	
		事業量の進捗率[Σa/A]	89.2	%	%
		予定全体直接事業費[B]	25,750,540,000	円	円
		評価年度までの直接事業費[Σb]	16,323,892,397	円	円
		事業費の進捗率[Σb/B]	63.4	%	%
		評価年度の事業量[a]	0.14	ha	
評価年度の直接事業費[b]	12,598,300	円	円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	89,987,857	円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	52,413,900	円	
		決算額	12,598,300	円	

6 コストの 推移	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	直接事業費①(②+③+④)	52,413,900	12,598,300	51,052,000
	一般財源②	-1,353,700	5,017,500	2,626,000
	起債③	30,100,000	5,500,000	22,900,000
	その他④	23,667,600	2,080,800	25,526,000
	概算人件費⑤	9,124,593	10,700,624	
	総合計(①+⑤)	61,538,493	23,298,924	
町費投入額(②+③+⑤)	37,870,893	21,218,124		

III. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	和合地区において公共下水道築造工事及び舗装復旧工事を施工しました。 和合ヶ丘地区において舗装復旧工事を施工しました。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされているため、下水道整備を早急に行う必要があります。下水道事業についてコスト縮減意識を持って実施設計を行い、未整備地区を中心に整備を推進します。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

IV. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	社会資本整備総合交付金の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減に努めます。
------------------	--